

**ニュータイカライトR** + wood

## はり 2 時間耐火 (木質系仕上げ材工法)

2 時間耐火被覆構造 国土交通大臣認定 FP120BM-0524-2(2)  
FP120BM-0524-2(3)

### 標準施工手順書

2026 年 1 月版

## 目次

1. 初めに-----	3
2. 総則-----	3
3. 安全対策について-----	4
4. 保管・運搬上の注意・禁止事項-----	4
5. 材料-----	5
6. 表面仕上げ材-----	7
7. 施工方法-----	9
8. 認定番号-----	14
9. 鉄骨はりの規格①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材-----	15

## 1. 初めに

ニュータイカライト R は、2018 年以降に各種の耐火構造認定を取得した工法用の最新の耐火被覆材です。耐火構造の認定制度では、最新の技術的知見により適用範囲や条件の見直しが行われており、特に大臣認定の厳格化以降、仕様の記載内容が緻密化されており、本製品による工法は、適用範囲の評価で適用可能な仕様バリエーションを最大限広げた認定内容になっています。従来の JIS 規格鋼材に加え、大臣認定鋼材など多くの材種の鋼材に適用可能です。

このたび、被覆材表面の全面又は一部に可燃物である木材を取り付けた仕様にて耐火認定を取得いたしました。内装木質化により、カーボンニュートラル、持続可能な資源の利用、快適空間の実現に貢献します。

### \*注意事項

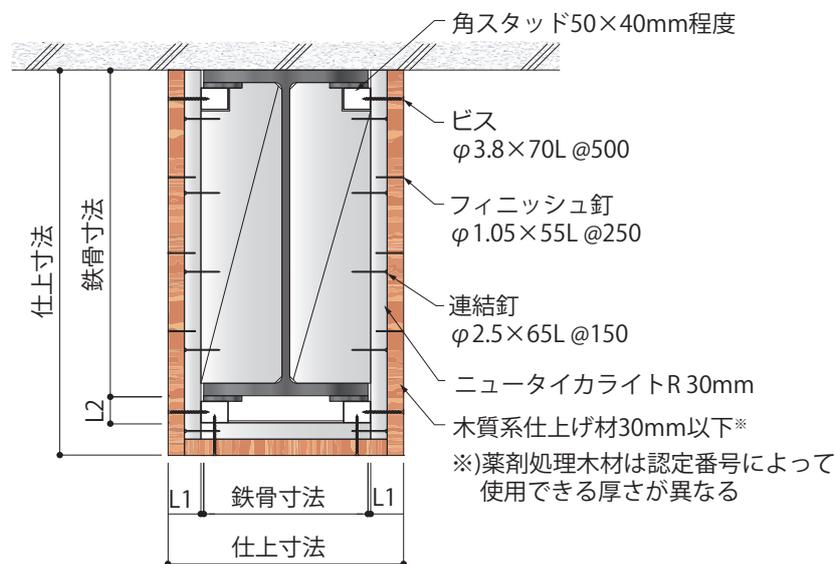
この「標準施工手順書」は、必ず施工前に注意深く読み、よくご理解ください。

この「標準施工手順書」は、この施工全般にわたって、いつでも確認できるように保管しておいて下さい。

## 2. 総則 (1)

### 2-1 適用範囲

この標準施工手順書は、ニュータイカライト R+wood(木質系仕上げ材工法)2H 耐火について適用する。



独立はり (基本断面図)

## 2. 総則 (2)

### 2-2 周知徹底

ニュータイカライト R +wood 2H 耐火の施工に際しては、この標準施工手順書に基づいて事前説明会やその他の方法で作業員全員に周知徹底する。

### 2-3 施工

施工業者は、この標準施工手順書に基づき、正確かつ確実に施工しなければならない。この標準施工手順書に明記されていない事項又は、疑問点がある場合は、日本インシュレーション(株)の担当者と協議し、施工内容を検討する。

### 2-4 報告

施工業者は、工事が完了した時点で建設元請業者の監督員に報告し検査を受ける。

## 3. 安全対策について

**3-1** 現場の作業は、安全を第一とし、各々が自覚した行動をとり、もし危険のある段取や安全管理が徹底出来ない場合は、作業を中止して見直しを図り全員一体となって、安全を最優先し、無事故無災害で工事を完成させることを基本とする。

## 4. 保管・運搬上の注意・禁止事項

**4-1** 製品の保管(貯蔵)に際しては、雨がかりのある場所その他水気の多い場所に製品を保管(貯蔵)しないでください。製品が吸水すると強度が低下するなどの恐れがあり、藻類やカビなどが発生するなどの恐れもあります。水がかりが予想される場所に保管(貯蔵)せざるを得ない場合は必ず防水シートなどで製品に水がかからないようにしてください。

**4-2** 製品は直射日光を避けて保管(貯蔵)してください。特にフィルム梱包されている場合は日光によりフィルムが劣化して破損し、製品への保護能力を失う恐れがありますので注意してください。

**4-3** 製品はできるだけ水平で平坦な場所に保管(貯蔵)してください。また、1mを超えるような積載、或いは立てかけによる保管(貯蔵)はしないでください。何らかの力が製品に加わった際に製品が崩れる・落下する・転倒する・変形するなどの恐れがあります。

**4-4** ダンボールケース入りの製品は、ダンボールケースを立てて(内包される製品が立つ方向で)保管(貯蔵)願います。横倒しで保管(貯蔵)した場合、物を載せるなどの力が加わると内包される製品が破損しやすくなります。

**4-5** 製品を車両・キャリアーなどで運搬される場合は、できるだけ平積みにしてシートで養生するなど荷崩れが起こらないようにしてください。また、製品の運搬・荷積み・荷降ろしの際には接触などで製品の角部や小口などが破損しないように十分注意してください。作業前にクッション材などで製品を保護することを推奨します。

**4-6** 板状製品は木端立て(板面を垂直)にして持ち運びしてください。板面を水平にして持ち運ぶと、たわみや振動で製品が破損するなどの恐れがあります。

## 5. 材料 (1)

### 5-1 主構成材料

#### 5-1-1 鉄骨はり

形状・寸法：H - 400 × 200 × 8 × 13mm 以上（表面処理塗装：有機量 100 (± 10) g/m<sup>2</sup> 以下)

規格：下記のいずれかとする。

① 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400、SS490	② 建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400、SN490
③ 溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400、SM490、SM520	④ 溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114) SMA400、SMA490
⑤ 上記①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材 (表 1 に示す)	

※ただし、⑤は建築基準法第 37 条第二号に適合するものに限る。

建築基準法第 37 条第二号抜粋：指定建築材料ごとに国土交通大臣が定める安全上、防火上又は衛生上必要な品質に関する技術的基準に適合するものであることについて国土交通大臣の認定を受けたもの。

#### 5-1-2 耐火被覆材

商品名：ニュータイカライト R (ゾノライト系けい酸カルシウム板)

規格：日本インシュレーション(株)製品規格による

密度：0.25g/cm<sup>3</sup> 以上

厚さ：30mm 以上

標準寸法：1000 × 610、910、1525mm

### 5-2 副構成材料

※補強下地の断面形状及び寸法を強度計算等で安全性を検討し形状・寸法を決定してください。

#### 5-2-1 補強下地

材 質：鋼製又はステンレス鋼製（表面処理メッキ品又はさび止め塗装：有機量 70 (± 7) g/m<sup>2</sup> 以下)

補助材 (1), 補助材 (2)：鉄骨上下フランジ部に水平方向に取り付ける補強下地

下記①～②の 1 つもしくは組み合わせ

① □ -40 × 27 × 30 × 0.55mm 以上

② 上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの

(例：□ -40 × 50 × 0.45mm、L -40 × 40 × 1.2mm、L -50 × 50 × 0.8mm)

補助材 (3)：補助材 (1), 補助材 (2) をつなぐ補強下地 (あり又はなし)

下記①～③の 1 つもしくは組み合わせ

① □ -40 × 45 × 0.45mm 以上

② □ -25 × 50 × 5 × 0.4mm 以上

③上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの

## 5. 材料 (2)

連結材補助材 (1)：鉄骨はり と補助材を溶接又は鋸にて接合するための補強下地 (あり又はなし)

下記①～②の 1 つもしくは組み合わせ

① 平鋼 -40 × 1.6mm 以上

② 折り曲げ金物 (上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの)

連結材補助材 (2)：鉄骨はり と補助材を無溶接接合するための補強下地 (あり又はなし)

下記①～②の 1 つもしくは組み合わせ

① 平鋼 -40 × 0.8mm 以上

② 上記の断面積、断面 2 次モーメント、断面係数以上のもの

はね出し長さ - 20mm 以下

かかり代 - 25mm 以上

取付間隔 - 1000 (± 100)mm 以下



### 5-2-2 補強下地の固定用留付材

補強下地は鉄骨部 (溶接捨て鋼材も可) へ以下方法で固定する。

※ 構造上安全なピッチの選定が必要です。

#### ① 鋸による圧着

材 質：鋼製 (亜鉛メッキ処理)

呼び寸法：φ 3.0mm × 長さ 14mm 以上

留付本数：1 箇所あたり 1 本以上

#### ② 溶接

留付箇所：1 箇所あたり 2 点以上

留付間隔：1000 (± 100) mm 以下

### 5-2-3 スペーサー (被覆材同質材)

材 質：けい酸カルシウム板 (JIS A 5430)

種 類：タイプ 3

密 度：0.25g/cm<sup>3</sup> 以上

寸 法：幅 35mm 以上 高さ 374mm 以上 奥行 96mm 以上

ウェブと被覆材の間に隙間なく設置 (ただし鉄骨入隅部、補助材との取り合い部は除く)

留付間隔：1000 (± 100) mm 以下

### 5-2-4 スペーサーの固定材

下記①～②の組み合わせ

#### ① 鉄骨はり とスペーサー [被覆材同質材] の設置面に塗布する接着剤

材 料：下記①～②の 1 つもしくは組み合わせ

① ボンデスト (けい酸ナトリウム系接着剤)

② シーリング材

材質：1) ～ 7) の 1 つ

1) アクリル系、2) ポリウレタン系、3) アクリルウレタン系

4) シリコン系、5) 変成シリコン系、6) ポリイソブチレン系

7) ポリサルファイド系

使用量：1000g/m<sup>2</sup> 以上

## 5. 材料 (3)

- ② 鉄骨はり下フランジとスパーサー〔被覆材同質材〕の隙間に設置するクサビ  
 材料：けい酸カルシウム板 (JIS A 5430) タイプ 3 0.5TK (※鋼製板加工品でも可)  
 幅：20 (± 2) ～ 50 (± 5) mm  
 留付間隔：1000 (± 100) mm 以下

### 5-2-5 耐火被覆材 (ニュータイカライト R) 固定用留付材 (釘、ビス)

- 材 質：鋼製又はステンレス鋼製  
 寸 法：胴部径φ 2.5mm ×長さ 65mm 以上 (耐火被覆材側板と底板の固定、及びスパーサーへの固定)  
           胴部径φ 3.5mm ×長さ 40mm 以上 (補強下地への固定)  
 留付間隔：150mm 以下

## 6. 表面仕上げ材 (1)

### 6-1 耐火被覆材「ニュータイカライト R」の表面仕上げ材

#### 6-2-1 木質系仕上げ材

種 類：下記①～⑦のいずれか

- ①合板
- ②単板積層材 (LVL)
- ③集成材
- ④製材
- ⑤薬剤処理木材 (表 2、表 3\*に示す。)
- ⑥薬剤処理木材 (表 4 に示す。)
- ⑦薬剤処理木材 (表 5 に示す。)

※表 3 に示す薬剤処理木材を使用する場合、t9.5mm 以上の石膏ボード (JIS A 6901) 増し張り必要

密 度：①～④ 0.35 g/cm<sup>3</sup> 以上、⑤ 0.6 g/cm<sup>3</sup> 以上、⑥ 0.6244g/cm<sup>3</sup> 以上、⑦ 0.43g/cm<sup>3</sup> 以上  
 厚 さ：①～④ 30mm 以下、⑤ 15mm 以下、⑥～⑦ 38mm 以下

#### 6-2-2 木質系仕上げ材固定用留付材 (釘、ビス)

※ 公共建築工事標準仕様書に基づいて脱落しない安全なピッチで施工する。

材 質：鋼製又はステンレス鋼製

##### 1) 木質系仕上げ材①～④を固定する場合

寸法：胴部径又は呼び径φ 4.8 ×長さ 75mm 以下  
 合計断面積：435mm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> 以下、合計留付本数：45 本 /m<sup>2</sup> 以下  
 (目安：補強下地への留付φ 4.8 ×長さ 75mm；側板水平方向 1m あたりにつき 3 箇所  
 補強下地以外への留付φ 1.05 ×長さ 50mm；側板水平方向 1m あたりにつき 4 箇所)

##### 2) 木質系仕上げ材⑤～⑦の厚さ 24mm 以下を固定する場合

寸法：胴部径又は呼び径φ 3.8 ×長さ 70mm 以下  
 合計断面積：435mm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> 以下、合計留付本数：45 本 /m<sup>2</sup> 以下

## 6. 表面仕上げ材 (2)

3) 木質系仕上げ材⑥～⑦の厚さ 24mm 超過 38mm 以下を固定する場合

寸法：胴部径又は呼び径 $\phi$  5.5 ×長さ 90mm 以下

合計断面積：919mm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup> 以下、合計留付本数：121 本 /m<sup>2</sup> 以下

※薬剤処理木材を使用する場合、種類によっては金属を腐食させ木材が劣化する可能性がございますので、留付材はステンレス鋼製を選定してください。

### 6-2-3 増し張り石膏ボード固定用留付材

※表 3 の薬剤処理木材の木質系仕上げ材を取り付ける場合、被覆材の表面に予め石膏ボード (9.5mm 以上) を以下の留付材で増し張りする必要があります。

石膏ボード固定用留付材は以下①～②

① ステープル

寸法：幅 4mm 以上、長さ 32mm 以上

留付間隔：はり背方向 175mm 以下、はり幅方向 175mm 以下、はり長さ方向 300mm 以下

② タッピンねじ (あり又はなし)

寸法：胴部径 $\phi$  3.5mm × 35mm 以上

### 6-2-4 木質系仕上げ材取付用接着剤 (上記の増し張り石膏ボード取り付け時と同様)

使用量：100g/m<sup>2</sup>以上 (接着剤が必要な場合)

材 料：下記 (1) ～ (21) のいずれか

- (1) 酢酸ビニル樹脂系、(2) 合成ゴム系、(3) アクリル樹脂系、(4) ポリサルファイド系、  
 (5) シリコーン系、(6) ウレタン樹脂系、(7) ポリアミド系、(8) エポキシ樹脂系、(9) せっこう系、  
 (10) 炭酸カルシウム系、(11) セルロース系、(12) フェノール樹脂系、(13) シアノアクリレート系、  
 (14) ポリエーテルアクリレート系、(15) レゾルシノール系、(16) ポリビニルアルコール系、  
 (17) 塩化ビニル系、(18) ポリオレフィン系、(19) ポリエステル系、(20) エチレンビニルアセテート系、  
 (21) けい酸ナトリウム系

## 7. 施工方法 (1)

施工は以下の手順で行います。

### 7-1 耐火被覆 標準施工要領

#### 7-1-1 ニュータイカライト R 施工準備

##### (1) 鉄骨はりの清掃

施工に先立ち、鉄骨面は施工に支障のないように清掃する。

##### (2) 鉄骨はりのさび止め塗装

さび止め塗装が必要な場合は鉄骨表面の素地調整を行い、さび止め処理などの塗装を行う。

#### 7-1-2 補強下地の取付

##### 1) 補強下地の設計

- ・補強下地の断面形状及び寸法を強度計算等で安全性を検討し形状・寸法を決定する。

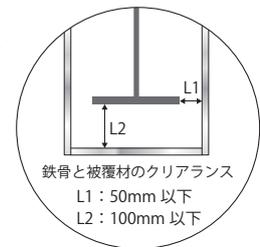
##### 2) 補強下地の取付

- ・必要に応じて、「5-2-1 補強下地」に記載されている連結材補助材を取付位置に固定する。

※ 鉄骨とニュータイカライト R とのクリアランスに耐火認定上の制限がありますので、仕上がり寸法に注意して補強下地を設置してください。

鉄骨とニュータイカライト R 側板とのクリアランス L1：50mm 以下

鉄骨とニュータイカライト R 底板とのクリアランス L2：100mm 以下



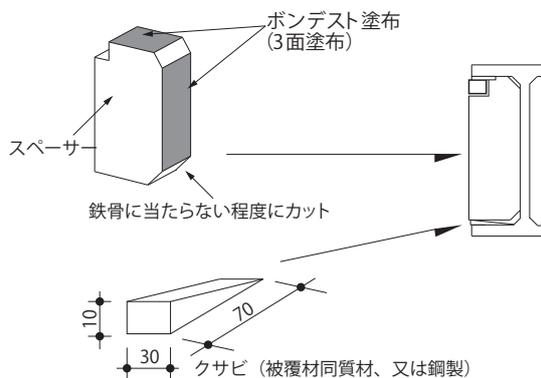
#### 7-1-3 スペーサーの取付

##### 1) スペーサーのマーキング

- ・ニュータイカライト R 側板割付けに従い鉄骨フランジ小口に@ 1000 ピッチでスペーサー位置をマーキングする。

##### 2) スペーサーの取付

- ・はり及び取付用補強下地（角スタッド等）の形状に合わせて、スペーサーを裁断する。
- ・裁断したスペーサーの鉄骨設置面にボンデストを塗布する（3面）。
- ・鉄骨はりにマーキングされた位置にスペーサーを設置し、クサビをスペーサー下部に打ち込む。



## 7. 施工方法 (2)

### 7-1-4 ニュータイカライト R の取付

#### 1) ニュータイカライト R の割付

- ・設計図、施工図及び、鉄骨寸法によりニュータイカライト R の割付を行う。
- ・ニュータイカライト R 側板の幅は、(はり背寸法) + (鉄骨とニュータイカライト R 底板との間隔) + (ニュータイカライト R 厚さ) となる。

#### 2) ニュータイカライト R の切断

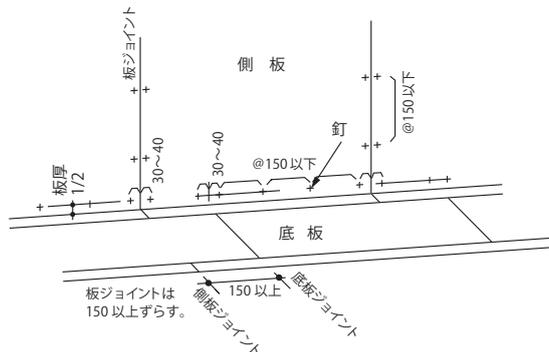
- ・ニュータイカライト R の切断は、割付により丸ノコ等を用いて切断を行う。
- ・ニュータイカライト R に面取り加工を施す場合は、最大 5 mm 以下とする。

#### 3) ニュータイカライト R の目地仕様

ニュータイカライト R の目地は千鳥仕様で施工を行う。

#### 4) ニュータイカライト R の施工方法

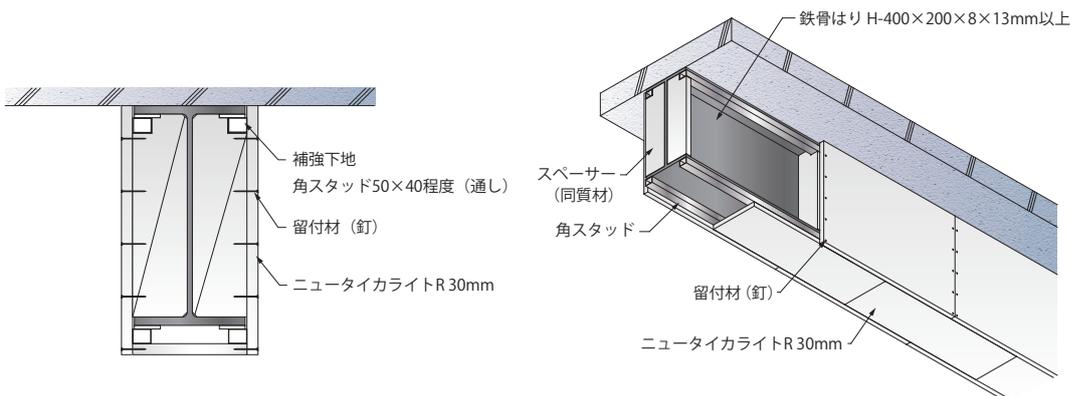
- ・ニュータイカライト R 側板をスペーサー材に釘で固定する。
  - ・ニュータイカライト R 底板は小口面に対してニュータイカライト R 側板から釘で固定する。
  - ・釘の留付間隔は@150 以下とし、はり底角部に歪みがないかラインを目視で睨み確認する。
- ※上記に加え、必要に応じて補強下地にビスを留付け安全性を確認する。



- ・ニュータイカライト R 同士の取り合い部や突起物等のニュータイカライト R の切り欠き部は、取り合い部クリアランスを最小限で施工する。取り合い部に隙間が生じた場合は目地処理材を施す。
- ・目地部(小口)にボンデストを点又は帯状に塗布し、目地部を補強することもできる。
- ・パネルゾーンで異種耐火被覆材と取合う場合は、梁の端部を被覆材で塞ぐ。

#### 5) ニュータイカライト R の目地仕上げ

ニュータイカライト R 目地部に隙間や少量の欠けが生じた場合、又は塗装やクロス等の仕上げが必要な場合には目地処理材を充てんする。



## 7. 施工方法 (3)

### 6) デッキ詰め

- ・スラブ形状がフラットでない場合は、デッキ形状に合わせてニュータイカライト R を加工し取り付け。
- ・デッキとの隙間には、補修材（ニュータイカライト R スラリー、有機系シーリング材など）を充填する。

① デッキ詰めの方法

① デッキコマ取り付け(先付け方式)

側板を固定する前に、いったんデッキにあてがいデッキ穴の両端を側板に転記する側板を取り外し、記した位置に工場にて裁断したデッキコマを両側から斜めに 2本釘打ちし取り付け。(接着剤を併用するとより強く固定できる) デッキコマと一体化した側板を再びデッキにあてがいスペーサーに釘打ちして固定する。

② デッキコマ(連続型)取り付け(後付け方式)

側板取り付け後、工場にて裁断したデッキコマ(連続型)を側板に釘で上張りする。

※上記以外の納まりが発生する場合には工事責任者等に確認し、確実な固定方法で施工する。

デッキ形状を測定し(複数箇所測定する)  
約 2mm 小さい寸法で工場加工とする。

### 7) スリーブ貫通処理

- ・鉄骨にスリーブ孔が開いている場合は、耐火欠損とならないように円筒状の耐火被覆材（製品名：ニュータイカライト R カバー）を設置する。

釘打ち。(交差させる)

針金

スリーブ

鉄骨スリーブ孔

接着剤塗布 (ボンデスト)

又は、2分割

多分割

釘打ち

スリーブ

側板

スリーブ内径

#### 作業手順

- ・鉄骨スリーブ孔位置と大きさを確認する。  
(スリーブ径は社内規格による。)  
(スリーブは底板長さにプレカットする。)
- ・スリーブを組立てる。  
スリーブを組合せ針金で結束する。又は、組合せ角から釘を交差させるように打ち込む。  
(複数片組み合わせる場合には中間部にも打ち込む)  
(釘がスリーブ内面に飛び出ないように注意)  
(接着剤を併用すると良い)
- ・スリーブを挿入する。  
スリーブががたつく様であれば、スペーサー材をスリーブ受けとして下に取り付ける。
- ・側板にスリーブ孔を開ける。  
スリーブ位置を実測し穴開けドリル又は手鋸で穴を開ける。(事前に寸法が分かればプレカットとする。)
- ・側板を取付ける。  
スリーブ小口に釘打ちし固定する。  
スリーブジョイント部に隙間段差等出来たときはスラリー処理する。

#### スリーブ貫通カバーサイズ一覧

適用する認定番号: FP120BM-0524 (H-400×200×8×13以上)

鉄骨はりスリーブ孔 [mm]	内径 <sup>*1</sup> [mm]	材厚 <sup>*2</sup> [mm]	片/本
100	27	30	2
125	49	30	2
150	76	30	2
175	102	30	2
200	127	30	2
225	140	30	2
250	165	30	3
275	194	30	3
300	216	30	3
325	242	30	4
350	267	30	4
375	267	30	4
400	319	30	4
* 425	350	30	6
450	374	30	6
* 475	396	30	6
500	426	30	6

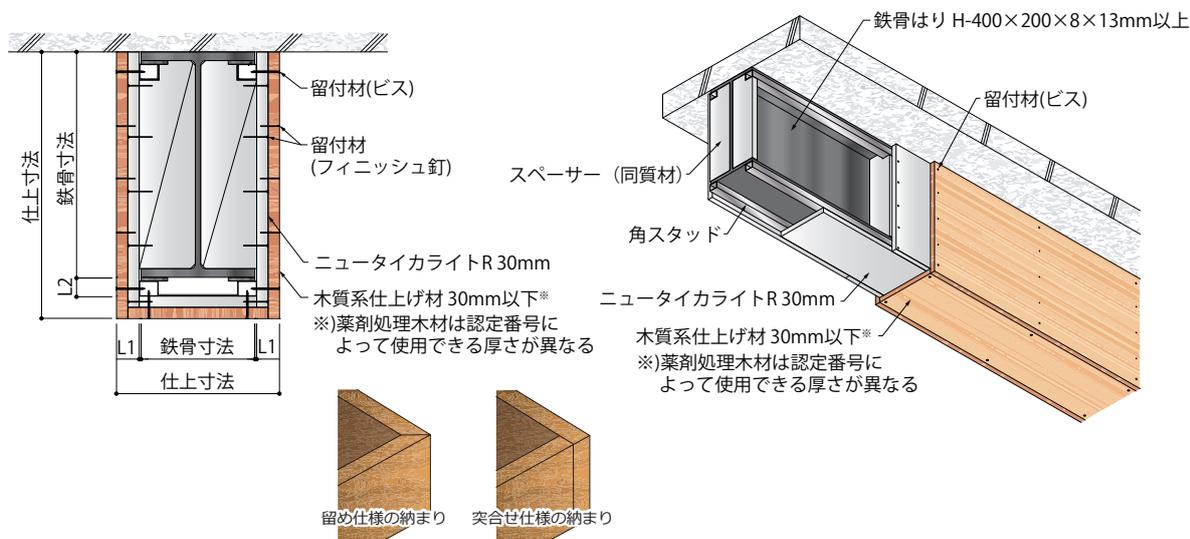
- 注意点
- ・表中の \* マークのサイズは特殊加工品となり、通常品とは納期やコストが異なります。
  - ※ 1) 内径は誤差範囲の最小値を記載しています。
  - ※ 2) 材厚は誤差範囲の最小値を記載しています。

## 7. 施工方法 (4)

### 7-2 表面仕上げ材 標準施工要領

#### 7-2-1 木質系仕上げ材の取付

- 1) 木質系仕上げ材の割付
  - ・設計図、施工図及び、ニュータイカライト R 仕上寸法により木質系仕上げ材の割付を行う。
  - ・木質系仕上げ材は必ずしも全面に取り付ける必要はなく、部分的に耐火被覆材が露出しても構わない。
- 2) 木質系仕上げ材の切断
  - ・木質系仕上げ材の切断は、割付により丸ノコ等を用いて切断を行う。
  - ・小口面は設計図、施工図をもとに突付、及び実加工等の形状に加工することができる。
- 3) 木質系仕上げ材の施工方法
  - ・木質系仕上げ材を上下の補強下地 ( 補助材 (1)、(2) 等 ) にビスで固定する。  
※留付け箇所はダボ穴加工の後、埋木処理する事ができる。
  - ・上記に加えて、木質系仕上げ材をニュータイカライト R ( 側板・底板 ) の設置面に目立たないフィニッシュ釘等で固定する



#### 7-2-2 木質系仕上げ材の表面塗装など

木質系仕上げ材 ( 薬剤処理木材を除く ) を用いる場合、表面に以下の処理を施す事ができる。  
(有機質量の合計 : 113g/m<sup>2</sup> 以下)

- 1) 素地調整
  - 材料 : ①、②、又は組み合わせ
  - ①セラックニス ( JASS 18 M-308 )
  - ②ポリエステルパテ ( JASS 18 M-110 )

## 7. 施工方法 (5)

### 2) 1 液形油変性ポリウレタンワニス塗り

材料：①～③、又は組み合わせ

- ①油性目止め剤
- ②油性顔料着色剤 (JASS 18 M-306)
- ③ 1 液形油変性ポリウレタンワニス (JASS 18 M-301)

### 3) 2 液形ポリウレタンワニス塗り

材料：①～⑤、又は組み合わせ

- ①合成樹脂着色目止め剤
- ②溶剤系顔料着色剤
- ③ 2 液形ポリウレタンシーラー (JASS 18 M-302)
- ④ 2 液形ポリウレタンサンジングシーラー (JASS 18 M-302)
- ⑤ 2 液形ポリウレタンワニス (JASS 18 M-502)

### 4) クリヤラッカー塗り、2 液形ポリウレタンクリヤラッカー塗り

材料：①～⑨、又は組み合わせ

- ①合成樹脂目止め剤
- ②水性目止め剤
- ③溶剤系着色剤
- ④油性染料着色剤
- ⑤ウッドシーラー (JIS K 5533)
- ⑥ 2 液形ポリウレタンシーラー (JASS 18 M-302)
- ⑦サンジングシーラー (JIS K 5533)
- ⑧ 2 液形油変性ポリウレタンサンジングシーラー (JASS 18 M-302)
- ⑨クリヤラッカー (JIS K 5531)

### 5) ステイン塗り

材料：①～④、又は組み合わせ

- ①セラックニス (JASS 18 M-308)
- ②油性染料着色剤
- ③油性顔料着色剤 (JASS 18 M-306)
- ④ボイル油及びあまに油 (JIS K 5421)

### 6) 木材保護塗料塗り

材料：木材保護塗料 (JASS 18 M-307)

### 7) 合成樹脂調合ペイント塗り

材料：①～③、又は組み合わせ

- ①木部下塗り用調合ペイント (JASS 18 M-304)
- ②合成樹脂エマルジョンパテ (JIS K 5669)
- ③合成樹脂調合ペイント (JIS K 5516、1 種)

## 7. 施工方法 (5)

### 8) 合成樹脂エマルジョンペイント塗り

材料：①～③、又は組み合わせ

- ①合成樹脂エマルジョンパテ (JIS K 5669)
- ②合成樹脂エマルジョンシーラー (JIS K 5663)
- ③合成樹脂エマルジョンペイント (JIS K 5663、1種、2種)

### 9) つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

材料：①～③の一、又は組合せ

- ①合成樹脂エマルジョンペイント (JIS K 5669)
- ②合成樹脂エマルジョンシーラー (JIS K 5663)
- ③つや有合成樹脂エマルジョンペイント (JIS K 5660)

- 10) アルキド樹脂系、11) アミノ樹脂系、12) アクリル樹脂系、13) シリコーン樹脂系、
- 14) アクリルシリコーン樹脂系、15) ウレタン樹脂系、16) アクリルウレタン樹脂系、
- 17) ポリウレタン樹脂系、18) エポキシ樹脂系、19) ポリエステル系、20) ポリアミド樹脂系
- 21) 塩化ゴム系、22) ビニル樹脂系、23) フッ素樹脂系、24) フェノール樹脂系、25) フタル酸樹脂系
- 26) 不飽和ポリエステル樹脂系、27) NAD 樹脂系、28) 合成樹脂エマルジョン系、29) 水溶性樹脂系
- 30) ニトロセルロース系、31) 植物油系、32) 動物油系、33) 無機質系、34) 柿渋、35) 漆、
- 36) 木材保護塗料、37) クリヤラッカー

## 8. 認定番号

### ■ ニュータイカライト R+wood

**FP120BM-0524-2(2)** … 表面仕上げ材として木質系仕上げ材及び表 2、4、5 の  
薬剤処理木材を使用する場合

**FP120BM-0524-2(3)** … 表面仕上げ材として表 3、4、5 の  
薬剤処理不燃木材を使用する場合

#### 《補足》

木質系仕上げ材を上張りしない場合は下記の認定番号となります。

- ・表面ニュータイカライト R：FP120BM-0524-2 (1)
- ・表面石膏ボード上張り：FP120BM-0524-2 (4)

※各仕様に関しては別途認定書等をご確認ください。

## 9. 鉄骨はりの規格①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

表 1 ①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	認定板厚	記号の例
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0120	19 ≤ t ≤ 100	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0121	19 ≤ t ≤ 100	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0122	19 ≤ t ≤ 100	BT-HT440-SP
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0128	40 < t ≤ 100	HBL325,HBL355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0129	40 < t ≤ 100	HBL325,HBL355
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0130	19 ≤ t ≤ 100	HBL385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0131	19 ≤ t ≤ 100	HBL385
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0135	40 < t ≤ 100	HBL325,HBL355
建築構造用高降伏点 490N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0186	16 < t ≤ 100	BT-HT400C
建築構造用高性能 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0191	19 < t ≤ 100	KCL A385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 級 TMCP 鋼材	MSTL - 0201	16 < t ≤ 100	T-DAC385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0300	19 < t ≤ 100	BT-HT385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0303	12 ≤ t ≤ 19	HBL385
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0306	19 ≤ t ≤ 50	HBL440
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 級 TMCP 鋼材	MSTL - 0392	16 < t ≤ 100	T-DAC385
建築構造用 490MPa 級 TMCP 厚鋼板	MSTL - 0393	40 < t ≤ 60	CK-HYS325
建築構造用 520MPa 級 TMCP 厚鋼板	MSTL - 0409	12 ≤ t ≤ 50	CK-HYS355
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0410	19 < t ≤ 100	HBL440
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0413	12 ≤ t ≤ 100	BT-HT385
建築構造用高性能 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0481	12 ≤ t ≤ 100	KCL A385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0550	12 ≤ t ≤ 19	HBL385
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0564	40 < t ≤ 100	HBL325
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 0565	40 < t ≤ 100	HBL355
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0573	19 ≤ t ≤ 100	KCL A440
建築構造用高性能 550N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0575	12 ≤ t ≤ 100	KCL A385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0576	19 ≤ t ≤ 100	HBL385
建築構造用 550N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0577	12 ≤ t ≤ 19	HBL385
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0578	19 ≤ t ≤ 100	HBL440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 0587	19 ≤ t ≤ 100	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> TMCP 鋼材	MSTL - 0588	9 ≤ t ≤ 100	HBL440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9001	19 ≤ t ≤ 100	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9002	19 ≤ t ≤ 100	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9003	19 ≤ t ≤ 100	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9004	19 ≤ t ≤ 100	SA440
建築構造用高性能 590N/mm <sup>2</sup> 鋼材	MSTL - 9005	19 ≤ t ≤ 100	SA440
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 9006	40 < t ≤ 100	KCL A325,KCL A355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 9010	40 < t ≤ 100	T-DAC325,T-DAC355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL - 9012	40 < t ≤ 100	BT-HT325,BT-HT355
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 ZAM	MSTL - 0064	0.6 ≤ t ≤ 2.3	MSM-CK400,MSM-HK400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ	MSTL - 0069	1.6 ≤ t ≤ 9	NSDH400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ	MSTL - 0070	0.25 ≤ t ≤ 2.3	NSDH400,NSDH400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ	MSTL - 0362	0.4 ≤ t ≤ 2.3	NSDC400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイマ	MSTL - 0395	2.3 ≤ t ≤ 3.2	NSDH400
建築構造用冷間圧延溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 ZAM	MSTL - 0523	0.6 ≤ t ≤ 2.1	MSM-CK400
建築構造用 400N/mm <sup>2</sup> 級溶接軽量 H 形鋼	MSTL - 0072	2.3 ≤ t ≤ 12	NSSWH490
建築鋼材用板厚 H 形鋼	MSTL - 0086	40 < t ≤ 80	NSGH325
建築鋼材用高降伏点 H 形鋼	MSTL - 0307	12 ≤ t ≤ 40	NSYP255
建築鋼材用高降伏点 H 形鋼	MSTL - 0312	12 ≤ t ≤ 40	NSYP345
建築構造用 400N/mm <sup>2</sup> 級溶接軽量非対称 H 形鋼	MSTL - 0313	2.3 ≤ t ≤ 12	NSSWH400E
建築構造用 520N/mm <sup>2</sup> TMCP H 形鋼	MSTL - 0314	19 ≤ t ≤ 40	HBL-H355
建築鋼材用高降伏点 H 形鋼	MSTL - 0318	12 ≤ t ≤ 25	NSYP255
建築鋼材用高降伏点 H 形鋼	MSTL - 0319	12 ≤ t ≤ 25	NSYP345

※同一記号における A 種, B 種, C 種の区分を省略したもの

・一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく

表 2 薬剤処理木材

名称	認定番号
両面ウレタン系樹脂塗装／りん酸系薬剤処理／ヒノキ集成材	NM-1050

表 3 薬剤処理木材

名称	認定番号
不燃材料	
ほう砂・ほう酸塩系薬剤処理／すぎ板	NM-0168
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／すぎ板	NM-0692
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／ひのき板	NM-0761
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／あかまつ板	NM-0762
ほう素系薬剤処理／すぎ板	NM-0918
両面ウレタン系樹脂塗装／りん酸系薬剤処理／ヒノキ集成材	NM-1050
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／すぎ板有	NM-1142
ほう砂・酸化ほう素系薬剤処理／きり板	NM-1527
米ぬか系油塗／ほう酸系薬剤処理／スギ集成材	NM-1716
ほう素系薬剤処理／すぎ板	NM-1777
両面ウレタン系樹脂塗装／ほう素系薬剤処理スギ板	NM-3839
片面ウレタン系樹脂塗装／ほう素系薬剤処理スギ板	NM-3840
ほう素系薬剤処理スギ板	NM-3841
両面ウレタン系樹脂塗装／ほう素系薬剤処理スギ板重板	NM-4252(1)
ほう素系薬剤処理スギ板重板	NM-4252(1)
準不燃材料	
両面りん・チッ素化合物薬剤処理ケナフチップ張／ほう酸系薬剤処理木材チップ板	QM-0262
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／ラジアタパイン合板	QM-0382
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／ラジアタパイン合板	QM-0420
ニトロセルローズ系樹脂塗装／ほう酸塩系薬剤処理／マツ板	QM-0472
ほう酸系薬剤処理／スギ板	QM-0489
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／ラジアタパイン集成材	QM-0540
ほう砂・ほう酸系薬剤処理／たも集成材	QM-0541
ほう酸系薬剤処理／すぎ板	QM-0569
両面ウレタン系塗樹脂塗装／ほう素系薬剤処理スギ板	QM-0775
片面ウレタン系塗樹脂塗装／ほう素系薬剤処理スギ板	QM-0776
ほう素系薬剤処理スギ板	QM-0777

表 4 薬剤処理木材

名称	認定番号
りん酸グアニジン系薬剤処理／スギ材	NM-0832
りん酸グアニジン・硫酸アンモニウム系薬剤処理／ヒノキ材	NM-0889
グアニジンりん酸塩系薬剤処理すぎ板	NM-5665
ウレタン系樹脂塗装／グアニジンりん酸塩系薬剤処理すぎ板	NM-5666

表 5 薬剤処理木材

名称	認定番号
グアニジンりん酸塩系薬剤処理すぎ板	QM-1094
ウレタン系樹脂塗装／グアニジンりん酸塩系薬剤処理すぎ板	QM-1095